

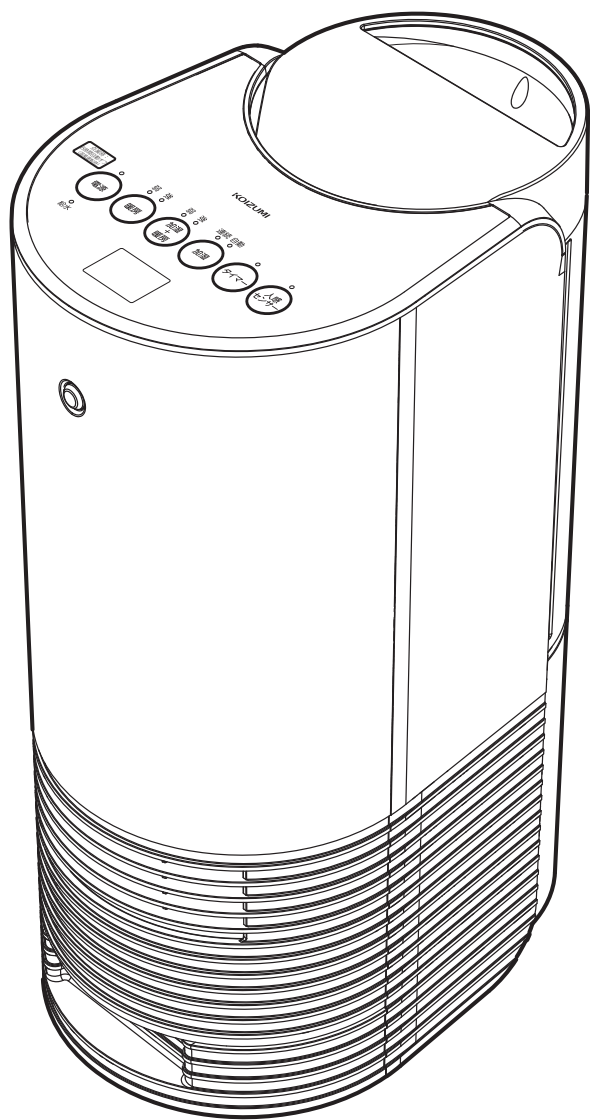
KOIZUMI

日本国内専用
Use only in Japan

家庭用

加湿セラミックヒーター KPH-1291

取扱説明書（保証書付）



目次

安全上のご注意.....	1～3
ご使用にあたってのお願い.....	4
各部のなまえ.....	5～6
お使いになる前に.....	7
運転のしかた.....	8～10
お手入れのしかた.....	11～12
保管のしかた.....	13
仕様.....	13
「故障かな？」と思ったら.....	13～14
お客様の個人情報のお取り扱いについて...	14
アフターサービスについて.....	15
保証・無料修理規定.....	15
保証書.....	15
お客様相談窓口.....	15

このたびは、コイズミ 加湿セラミックヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。なおこの取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、大切に保管してください。
- 特に「安全上のご注意」と「ご使用にあたってのお願い」、「お使いになる前に」を必ずお読みください。

小泉成器株式会社

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示の例

は、してはいけない 「禁止」の内容です	一般的な禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
は、必ず実行していただく 「強制」の内容です	ぬれ手禁止	接触禁止	
	必ず行う	電源プラグを抜く	

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



故障・異常時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

- スイッチを入れても、時々通電しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 通電中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。

このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」に点検と修理を依頼してください。



スプレー缶を本体の近くに置かない。

爆発や火災の原因となります。



改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解や修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



吹出口や吸気口、本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。

感電や、異常動作によるけがの原因となります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

⚠ 警告

-  **定格15A以上のコンセントを単独で使用する。延長コードを使用しない。**
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常に発熱して発火することがあります。
-  **電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。**
ショート・火災の原因となります。
-  **AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)**
火災・感電の原因となります。
-  **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**
感電・ショート・発火の原因となります。
-  **幼児の手の届く範囲で使用しない。**
本製品の隙間から指や物を差し込んだり、電源プラグをなめたりすると、感電やけがの原因となります。
-  **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
感電やけがの原因となります。
-  **水につけたり、水をかけたりしない。また、本体や操作部に水やお茶などをこぼさない。**
万一こぼれたときは、漏電や感電、発火の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。
-  **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。**
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。
-  **やけどのおそれあり。**
乳幼児、自分で操作できない方、皮膚感覚の弱い方がお使いのときは特に注意してください。
-  **カーテン、ふとんなど燃えやすいものの近くで使用しない。**
火災のおそれがあります。燃えやすいものを近づけないでください。詳しくは「設置について」(7ページ)をご覧ください。
-  **就寝中は使用しない。(暖房運転・加湿+暖房運転時)**
寝具などが触れると火災の原因となります。
-  **長時間同じ部位を温めない。**
比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を温めていると、低温やけどのおそれがあります。
-  **加湿トレイのお手入れに塩素系・酸性・アルカリ性・柑橘類の洗浄剤は使用しない。**
洗浄剤が残り、有毒ガスが発生する原因となります。

⚠ 注意

-  **使用中や使用直後、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。**
本体が高温になり、やけどの原因となります。
-  **使用しないときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
けがや故障の原因となります。
-  **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。**
ショート・感電・発火の原因となります。
-  **不安定な場所には置かない。**
特に毛足の長い敷物や座ぶとん等の上で使用しないでください。
本体が不安定となり、火災の原因となったり、水がこぼれて家財を濡らしたりする原因となります。
-  **温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所で使用しない。**
感電やショート、発火の原因となります。

注意



壁や家具の近くで使用しない。

熱や水分で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



使用中はタンクに手を触れたり、吹出口や吸気口に指を入れたりしない。

やけどやけがの原因となります。また、誤動作による故障や水漏れ、変形の原因となります。



使用中は本体を動かさない。移動するときは運転を止め、タンクを抜いて本体の水を捨てる。

水がこぼれて家財を濡らしたり、故障や水漏れの原因となります。



タンクを外したまま運転しない。

水が飛び散り床を濡らしたり、故障の原因となります。



本体に衣類やふとんをかけて使用しない。

加熱して火災の原因となります。



犬や猫などのペットの暖房用には使用しない。

ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因となることがあります。



乾燥等の他の用途に使用しない。

加熱して発火することがあります。燃えやすいものの落下等にはご注意ください。



抗菌カートリッジを外した状態で使用しない。

カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。



直接本体内部に給水をしない。

ショートや感電、故障や水漏れの原因となります。



タンクの水、加湿トレーは、常に清潔にする。

- タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。
- 加湿トレーは、定期的にお手入れしてください。汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに、健康を害する原因となります。



1週間以上使用しない場合は、タンクから抗菌カートリッジを取り外して乾かす。

カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。



1度使用した抗菌カートリッジ、加湿フィルターを、翌シーズンに使用しない。

カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■故障などを防ぐために、必ずお守りください。

使用前

- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。タンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れや故障の原因となります。
- 水道水を使用してください。アロマオイル、香水、芳香剤、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、アルカリ水、ミネラルウォーター、井戸水は使用しないでください。
- タンクキャップを必ずしっかり締めてください。
- 本体に直接水を入れないでください。水が必要以上に供給されて水漏れや故障の原因となります。

使用中

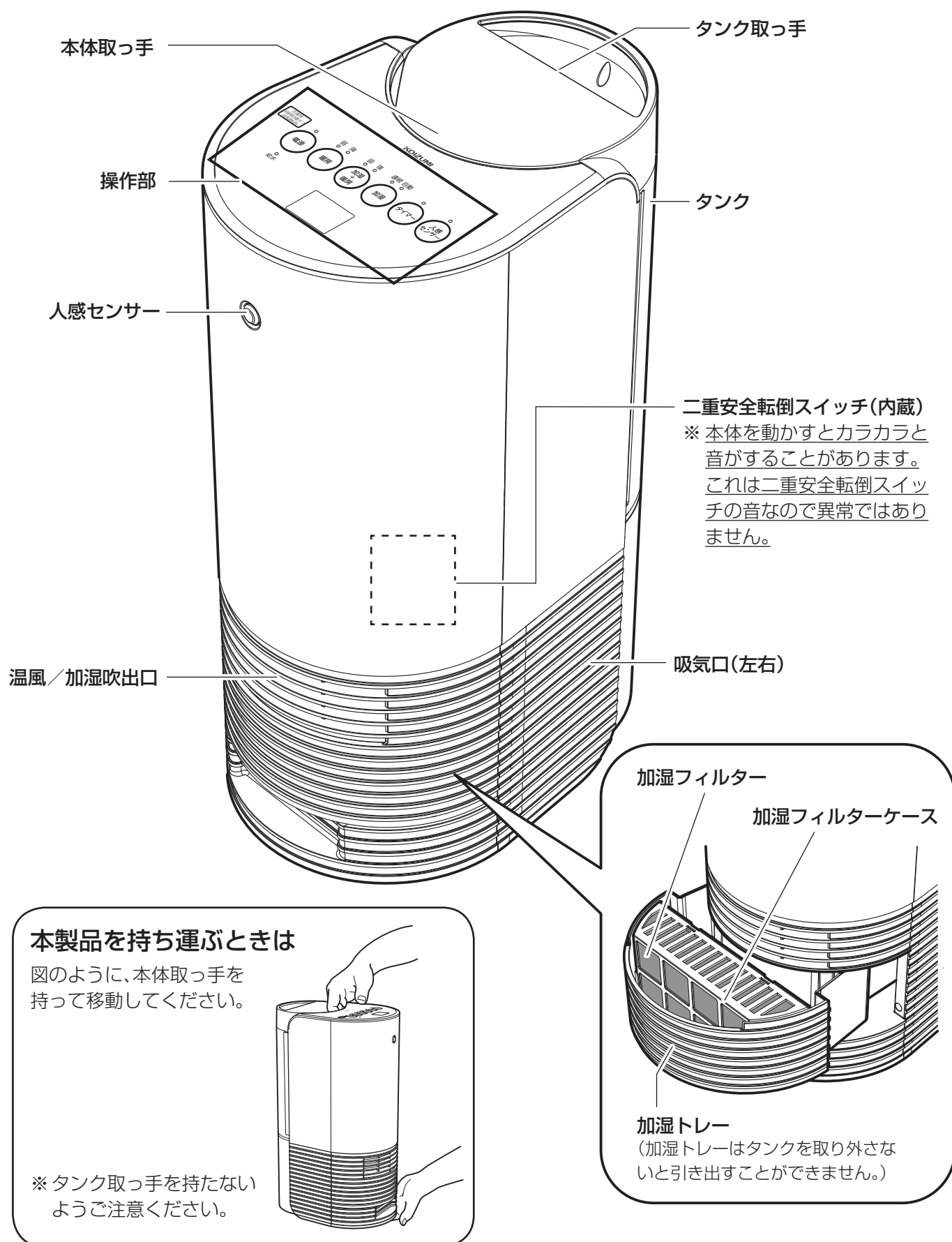
- 温風／加湿吹出口をふさがないでください。カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと、異常加熱で変形や故障の原因となります。
- 凍結に注意してください。凍結すると故障の原因となります。
凍結の恐れがあるときはタンクと加湿トレーの水を捨ててください。
- アロマオイルや香水をタンクや加湿トレーへ入れないでください。
- 使用中はタンクに手を触れないでください。使用中、タンクを動かすと、水が必要以上に供給されたり、故障や水漏れの原因となります。
あやまって上記の内容を行った場合、加湿トレーの水をすべて排水してから、もう1度セットしてください。

使用后

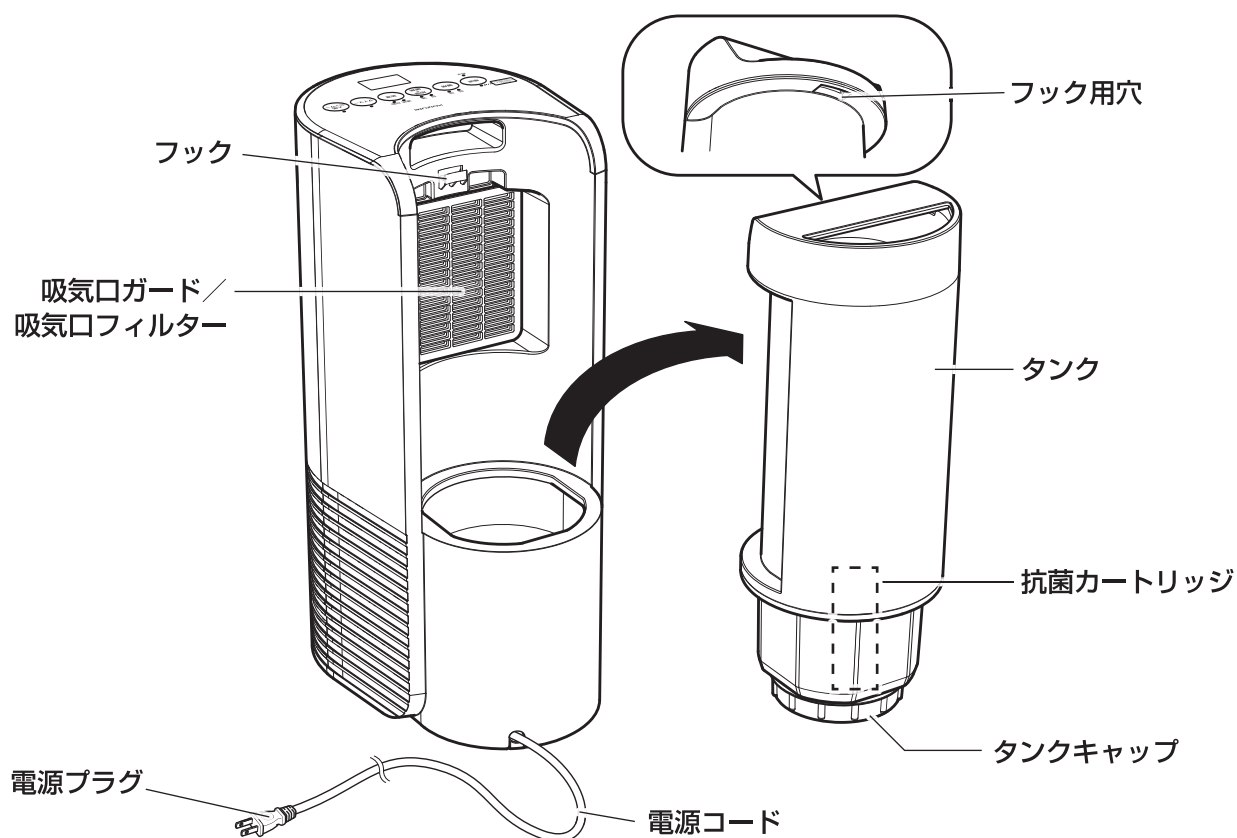
- タンク・加湿トレー内のお手入れをこまめにおこなってください。お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。
- 保管時は、排水してよく水分を拭き取ってください。抗菌カートリッジはタンクから取り外してください。水分が残ったまま長期間保管すると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

各部のなまえ

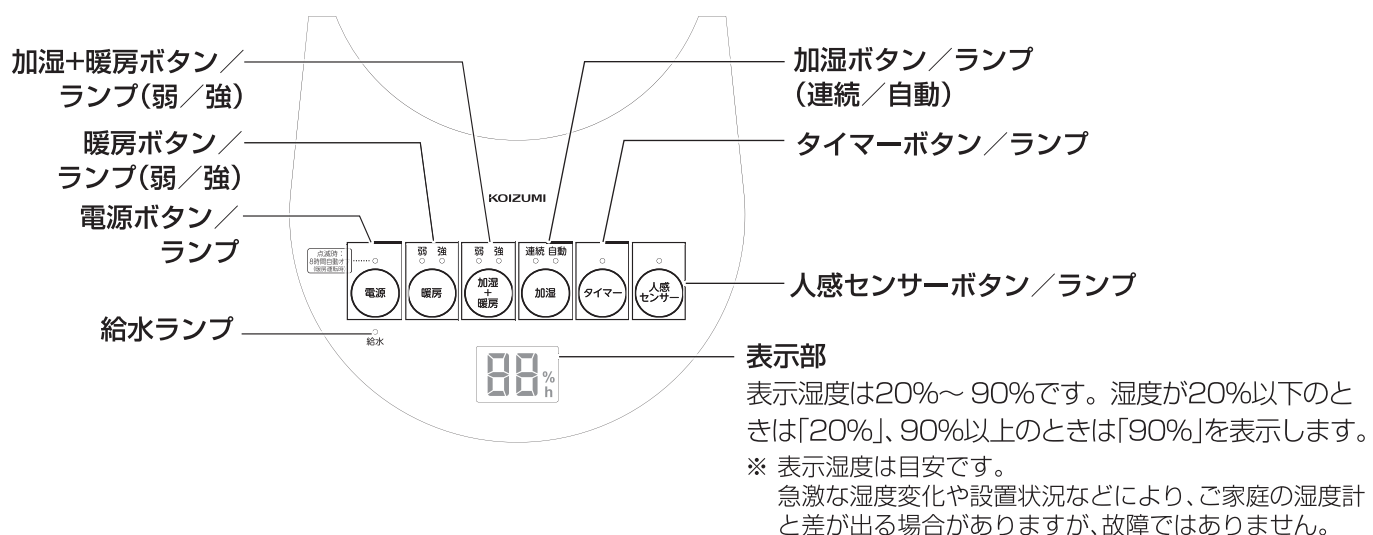
正面



背面(タンク取り外し時)



操作部

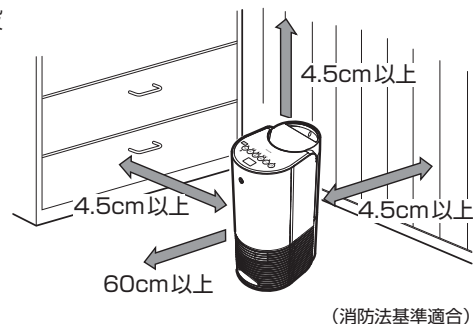


お使いになる前に

設置について

次の点に注意して設置してください。

- 壁やカーテン、家具などから4.5cm以上、天井から4.5cm以上離して設置してください。左右のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- 安定した平らな床面に置いてください。
- 直射日光が当たる場所や暖房機の上または近くから離してください。(変形・変色したり、誤作動の原因となることがあります。)
- エアコンの送風が温風／加湿吹出口に当たらない場所に設置してください。(床面を濡らす恐れがあります。)
- 周辺に、温風／加湿吹出口から出る風をさえぎるものや、湿気に弱いものがないことを確認してください。



次のような場所では使用しない

守らないと、本製品が倒れた場合、火災や、水濡れによるシミの原因となることがあります。

- 天井・壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなどに温風／加湿吹出口から出る風が直接あたるところ、およびその近く
- パソコンやテレビ、音響機器、精密機械(携帯電話など)の近く
- 人がよく通るところ
- 湿度の高いところ
- ベット脇など就寝中に手が届く場所
- 不安定な場所(カーペットやふとんなどの上など)

温度過昇防止装置(サーモスタット)について

この製品には、温度過昇防止装置(サーモスタット)が付いています。温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に停止します。(ヒーターが停止して温風が出なくなり、送風運転になります。)

この場合は電源を切り、次の項目を点検してください。

- 吸気口ガード／吸気口フィルターや、温風／加湿吹出口がごみやほこりで目詰まりしていませんか？
- 温風／加湿吹出口の前に物を置いていませんか？
- 正しく設置されていますか？

これらの原因を取り除いた後、約30分後に再度電源を入れてください。

二重安全転倒スイッチ(内蔵)について

通電中に本体が倒れたり、傾いたりした場合、自動的に電源が切れます。また、倒れた状態では通電しない、二重安全構造を搭載しています。

- 引き続き使用する場合は、安定した場所に置きなおし、再度電源を入れてください。
- 本体を動かすとカラカラと音がすることがあります。これは二重安全転倒スイッチの音なので異常ではありません。
- 本体内部が濡れた場合は、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

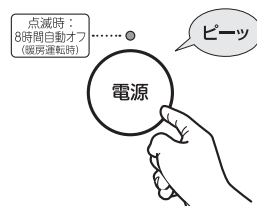
運転のしかた

1 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

コンセントに差し込む前に保護キャップを外してください。

2 電源ボタンを押して電源を入れます。

「ピーッ」と電子音が鳴り、電源ランプが緑色に点灯します。



3 お好みの運転モードを選びます。

加湿+暖房運転、加湿運転を行う場合は、あらかじめタンクに水を入れてください(9ページ参照)。

※運転中、本体が温かくなることがありますが異常ではありません。

運転モード		暖房運転	加湿+暖房運転	加湿運転
		弱 強 ○ ○ 暖房	弱 強 ○ ○ 加湿 + 暖房	連続 自動 ○ ○ 加湿
運転時のランプ	暖房ランプ	強または弱のランプがオレンジ色に点灯	消灯	消灯
	加湿+暖房ランプ	消灯	弱または強のランプが青色に点灯	消灯
	加湿ランプ	消灯	消灯	連続または自動のランプが青色に点灯
運転の種類		強 ⇄ 弱	強 ⇄ 弱	連続 ⇄ 自動
		「強」 ヒーターの強さを 強 で運転します。 「弱」 ヒーターの強さを 弱 で運転します。	「強」 ヒーターの強さ 強 に、加湿を加えて運転します。 「弱」 ヒーターの強さ 弱 に、加湿を加えて運転します。	「連続」 お部屋の湿度に関係なく、連続運転します。 「自動」 お部屋の湿度を55%に保つように、自動的に加湿量を調整して運転します。

※風量はすべての運転モードで変わりません。

※水分を含ませたフィルターに温風を当てて湿った空気を吹き出す方式のため、蒸気(湯気)は見えません。

8時間自動オフ機能

電源の切り忘れを防ぐため、暖房ボタンを押してから8時間後に、自動的に運転を停止します。運転が停止すると、電源ランプが点滅し、運転の停止を知らせます。

加湿+暖房運転をしている場合は、給水ランプが点灯し、暖房運転に切り換わってから8時間後に運転を停止します。

運転を止める

電源ボタンを押します。

「ピッ」と電子音が鳴り、電源ランプと、選択している運転モードのランプが消えます。

運転終了時、ヒーター保護のため、約45秒間の送風運転を行います。

運転のしかた

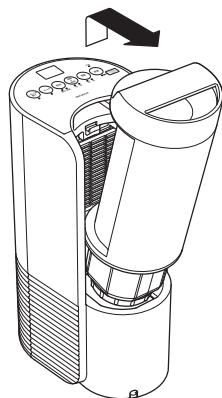
タンクに水を入れる

ご注意

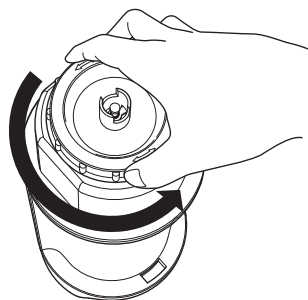
給水時に、水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。

1 タンクを本体から外します。

タンク取っ手を持ち、タンクを引き上げるようにして取り外してください。

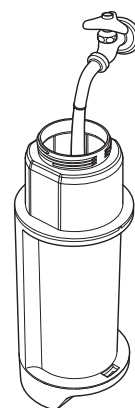


2 タンクキャップを矢印の方向へ回して外します。



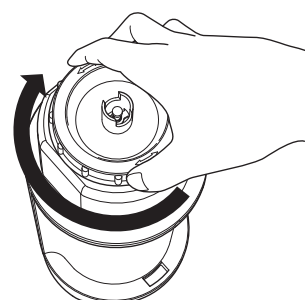
3 タンクに水道水(飲用)を入れます。

タンクから水があふれないように注意してください。



4 タンクキャップを矢印の方向へ回して取り付けます。

締めたあとに、タンクキャップを下にして2～3回軽く振り、水漏れがないか必ず確認してください。タンクキャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられていると、水漏れの原因となります。



5 本体背面のフックが、タンクのフック用穴に引っかかるように確実に差し込み、タンクを本体に取り付けます。

- ・タンクを差し込んだあとは、タンクの抜き差しを繰り返したりしないでください。水漏れや故障の原因となります。
- ・タンクが確実に取り付けられていないと、加湿できない原因となります。

水道水(飲用)以外は使用しない

タンクに、アロマオイルや芳香剤、香水、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、浄水器の水やミネラルウォーター、井戸水などは、絶対に入れないでください。変形、故障、カビや雑菌の繁殖の原因となります。

加湿運転の目安時間

タンク1杯分の水で約5時間の連続加湿運転が可能です。(強(600ml/h)運転/室温20℃の場合)

タンクの水がなくなると

●加湿運転の場合

加湿運転中に水が少なくなると、「ピッ」と電子音が5回鳴り、給水ランプが赤色に点灯して、運転を停止します。給水ランプ点灯中は5分おきに鳴ります(3回繰り返す)。電源ボタンを押して電源を切ってから、タンクに水を補給してください(9ページ)。

再び加湿運転を始めるときは、もう1度電源ボタンを押してから、加湿ボタンを押します。

●加湿+暖房運転の場合

加湿運転中に水が少なくなると、「ピッ」と電子音が5回鳴り、給水ランプが赤色に点灯して、自動的に暖房運転に切り換わります。給水ランプ点灯中は5分おきに鳴ります(3回繰り返す)。

タンクに水を補給する(9ページ)と給水ランプの点灯が消え、再び加湿+暖房運転が開始されます。

タイマーを使う

設定した時間が経過したときに自動で運転を停止する機能です。

運転中に、タイマーボタンをくり返し押して設定したい時間を選びます。

設定時間(1時間、2時間、3時間、4時間、5時間)が表示部に表示されます。



湿度表示中にタイマーボタンを押すと、表示部に残りの運転時間を約10秒間表示します。(例：タイマーを5時間後に設定してから2時間経過したときは、[03]を表示します。)

●設定時間が経過すると

タイマーランプが緑色に点滅し、自動で運転を停止します。設定時間経過前に運転を停止すると、タイマーの設定は解除されます。

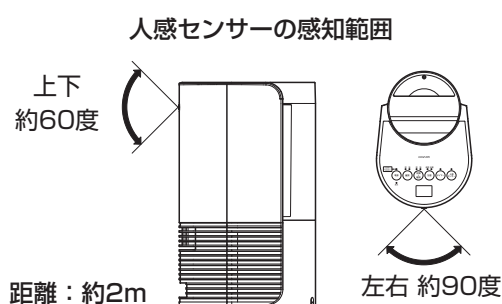
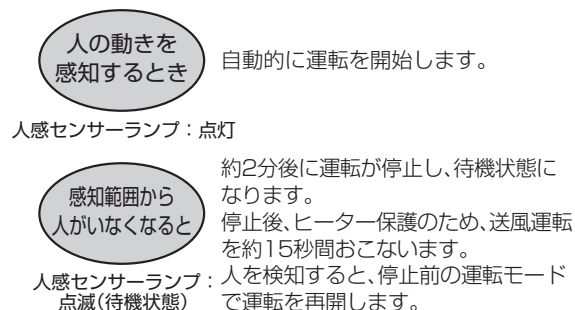
●運転を再開するには

電源ボタンを押して1度電源を切ってから、再度電源を入れてください。

人感センサーを使う

人の動きを感知して、自動的に暖房運転を停止したり、開始したりする機能です。

暖房運転時に、人感センサーボタンを押してください。



メモ

- 人感センサーの感知は多少時間差が出ることがあります。
- 人が感知範囲にいるときでも、まったく動かなかったり、動きが小さかったりした場合、速い動きで感知範囲を通過した場合は、人感センサーが感知しないことがあります。
- 人以外でも、ペットや風になびくもの、動作するものなどを感知する場合があります。センサー感知範囲付近にもものを置かないでください。
- まれに、太陽光や白熱電球などに感知する場合があります。このような場合は、設置場所を変えてください。
- 室温が人の体温に近い温度まで上昇すると、人感センサーが作動しないことがあります。これは故障ではありません。

お手入れのしかた

本製品を使用しないときは、必ずタンクや加湿トレーの水を捨ててください。

⚠ 警告 : お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体表面

本体表面の汚れは、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

ご注意

- 本体の丸洗いはしないでください。故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。変質、変色の原因となります。

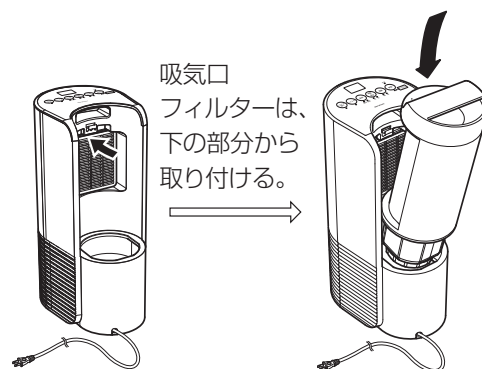
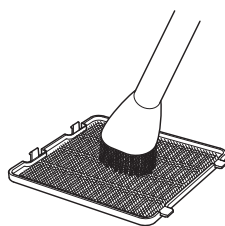
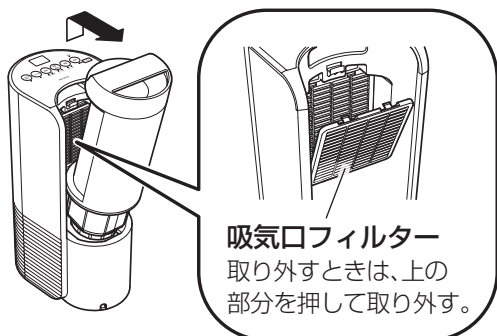
温風／加湿吹出口

温風／加湿吹出口のほこりは、掃除機で吸い取ってください。

吸気口フィルター

吸気口フィルターは週に1回の目安でお手入れしてください。

- 1 タンクを取り外してから、吸気口フィルターを本体から取り外します。
- 2 吸気口フィルターに付いたごみやほこりを掃除機で吸い取ります。
- 3 吸気口フィルターを元に戻し、タンクを取り付けます。

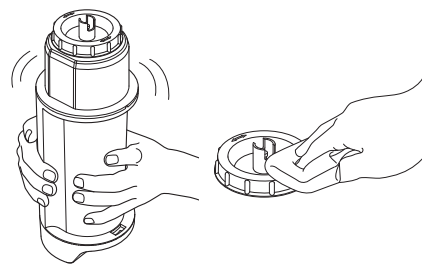


タンク／タンクキャップ

タンクに水を入れてタンクキャップを閉め、2～3回振り洗いをしてください。タンクの洗浄は毎日行ってください。タンクキャップは、流水で水洗いしたあと、柔らかい布で汚れを拭き取ります。

ご注意

- タンクを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 40℃以上の温水を使用しないでください。



加湿トレー

タンクを取り外してから加湿トレーを引き出します。加湿フィルターケースを取り外してから流水で水洗いし、柔らかい布で汚れを拭き取ります。

加湿トレーは、2週間に1回の目安でお手入れしてください。

加湿フィルター

加湿フィルターケースに入れたまま、すすぎ洗いをしてください。

加湿フィルターは、2週間に1回の目安でお手入れしてください。

ご注意

- 加湿フィルターは、加湿フィルターケースから外さないでください。
- 加湿フィルターケースは力を加えて洗わないでください。

抗菌カートリッジ、加湿フィルターを交換する

抗菌カートリッジは、タンクの中の水を抗菌するものです。

※カートリッジ内の抗菌粒に触れても、人体や動植物には無害です。

交換時期について

抗菌カートリッジ、加湿フィルターは消耗品です。次のような目安で交換してください。

- シーズンの初めには必ず新しい抗菌カートリッジ、加湿フィルターに交換してください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約1年です。(使用頻度により異なります。)

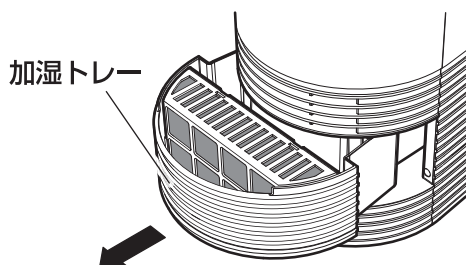
抗菌カートリッジの交換のしかた

- 1 タンクキャップを回して、タンクからタンクキャップと抗菌カートリッジを外します。
- 2 タンクキャップを外して、新しい抗菌カートリッジを取り付けます。
タンクキャップをしっかりと締め付けてください。
- 3 タンクに取り付けます。

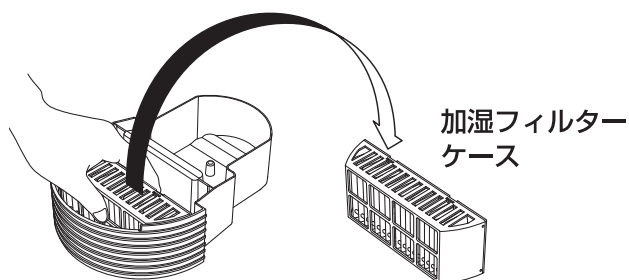


加湿フィルターの交換のしかた

- 1 タンクを取り外し、本体から加湿トレーを引き出します。



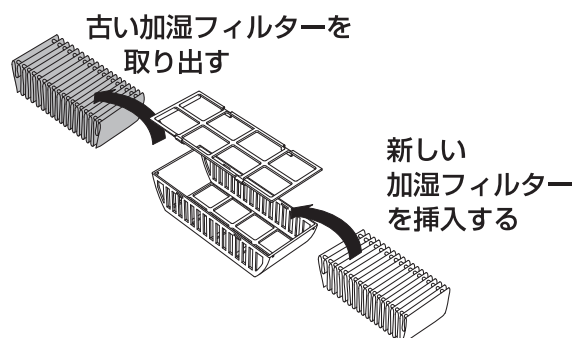
- 2 引き出した加湿トレーから加湿フィルターケースを取り出します。



メモ

- 抗菌カートリッジ、加湿フィルターを外した状態で運転しないください。
- 本製品を1週間以上使用しない場合は、抗菌カートリッジ、加湿フィルターを取り外し、乾かしてください。
- 1度使用した抗菌カートリッジ、加湿フィルターは、翌シーズン使用しないください。

- 3 ケースのふたを外し、新しい加湿フィルターに交換します。



※ケースも交換する場合は、新しいケースに加湿フィルターを挿入してください。

- 4 ケースにふたをして、加湿トレーに戻します。
- 5 加湿トレーを本体に戻し、タンクを取り付けます。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	型番
吸気口フィルター	KPH-0002
加湿フィルター	KPH-0003
加湿フィルターケース	KPH-0004
抗菌カートリッジ	KHM-031

保管のしかた

- 1 本製品をお手入れしたあと、水分を拭き取り、よく陰干ししてください。
※抗菌カートリッジ*、加湿フィルターケース*は取り外して乾かします。
- 2 本製品を陰干したあと、本体内部やタンクに水滴が付いていないことを確認してください。
- 3 本製品をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れ、湿気の少ないところに保管してください。

* 1度使用した抗菌カートリッジ、加湿フィルターは、翌シーズン使用しないでください。短期保管のときのみ、乾かして再利用できます。

仕様

電源		AC100V 50/60Hz共用
消費電力 (50/60Hz)	暖房運転	1150/1100 W
	加湿+暖房運転	1150/1100 W
	加湿運転	連続：520/500 W 自動：520/500 W
加湿量 (50/60Hz)	加湿+暖房運転	強：約600/約580 ml/h 弱：約200/約180 ml/h
	加湿運転	連続：約420/約400 ml/h 自動：約420/約400 ml/h
タンク容量		約3.8ℓ
連続加湿時間 (加湿運転・強)		約5時間

電源コードの長さ	約1.8m
ヒーター	PTCヒーター
安全装置	二重安全転倒スイッチ、 サーモスタット、温度ヒューズ、 電流ヒューズ
外形寸法	約197(幅)×282(奥行)× 460(高さ)mm
質量	約5.0kg
付属品	取扱説明書(本書：保証書付)

※ 加湿量・連続加湿時間は、室温や温度環境、壁、床の材質、部屋の構造などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。
※ 本製品の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

「故障かな？」と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて、商品をご持参ください。誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理はおやめください。

こんな場合	点検	処置のしかた
加湿しない	給水ランプが赤色に点灯していませんか？（水が少なくなっていないですか？）	水を補給してください(9ページ参照)。
	タンクが本体に確実に取り付けられていますか？	タンクを本体に確実に取り付けてください(9ページ参照)。
蒸気(湯気)が出ない 見えない	水分を含ませたフィルターに温風を当てて湿った空気を吹き出す方式のため、蒸気(湯気)は出ません。	異常ではありません。
本体が温くなる	運転中は本体が温くなることがあります。	異常ではありません。
加湿トレーが引き出せない	本体にタンクが取り付けられていませんか？	タンクを取り外してから、加湿トレーを引き出してください。
水が漏れる 水が溢れる	タンクにタンクキャップが確実に取り付けられていますか？	タンクキャップをしっかりと取り付けてください。

「故障かな？」と思ったら

こんな場合	点検	処置のしかた
給水ランプが赤く点灯したりしなかったりする	水が無くなる直前ではありませんか？（水位の変動により給水ランプが赤色に点灯することがあります。）	故障ではありません。
ブーンと音がする	モーターが回転する音です。	故障ではありません。
においがする	加湿トレー、加湿フィルターが汚れていませんか？	加湿トレー、加湿フィルターのお手入れをしてください。それでもにおいがするときは、加湿フィルターを交換してください。
運転しない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをしっかりと差し込んでください。
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを点検してください。
	本体が傾いていませんか？	安定した場所に置きなおし、電源を1度切ってから、再度電源を入れてください。
温風が出ない 途中で停止する	吸気口フィルターがゴミやほこりなどで目詰まりしていませんか？	吸気口フィルターのお手入れ(11ページ)をしてから、約30分後に再度電源を入れてください。
	温風／加湿吹出口の前に物を置いていませんか？	温度過昇防止装置が働いて停止することがあります。
	吸気口がふさがっていませんか？	「設置について」(7ページ)をお守りになり、約30分後に再度電源を入れてください。
電源プラグが異常に熱くなる	タコ足配線していませんか？	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
	コンセントの刃受け部がゆるくなっていますか？	コンセントをお調べください。
自動で運転を停止した	暖房運転を開始してから8時間経過していませんか？	8時間自動オフ機能が作動しています。運転を再開するには、電源ボタンを押して1度電源を切ってから、再度電源を入れてください。
	電源ランプが点滅していませんか？	
表示部に「E1」「E2」が表示される	電源ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れなおしてください。	再度「E1」「E2」が表示された時は、製品が故障している場合があります。電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

愛情点検

★長年ご使用の加湿セラミックヒーターの点検を！



このような
症状は
ありませんか

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、途中で止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

< 利 用 目 的 > お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合 > 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はご購入日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎていたときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 加湿セラミックヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

【保証・無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご購入後、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、本書の「修理センター」へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
(ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または本書の「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは「アフターサービスについて」をご覧ください。

加湿セラミックヒーター

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（左面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KPH-1291		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	見 体 本	1 年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	TEL		
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口 ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (07) 5555**
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (05) 8888**
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350
西日本修理センター ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (05) 8888**
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (00) 3211**
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30

(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2019年9月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)